

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	10	0	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
問題を発見・解決する力		0	20	0	0	10	30
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	本授業の前後を比較して得た自己の成長をレポートにまとめる。知識を用いて思考、表現ができてきているかどうか、学生固有の体験から学ぶことができているかを評価する。また、具体的に丁寧に書かれているかどうかを評価する。			レポートを返却し、解説とフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回の授業後にコメントシートを記入する。具体的に丁寧に書かれているか、自分の日常の体験と繋いで理解できているかを評価する。 (2点×15回=30点)			コメントシートに教員がコメントを加えて返却する。必要に応じて次回の授業で補足する。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	臨床心理士として18年、公認心理師として7年の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	ミニワークを中心とした体験学習を中心に展開する。心理療法やグループセラピイの技術を応用して、各自の体験からのスキルの取得や自己理解を促す。						
そ の 他	生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。 「自己表現とコミュニケーション (Basic)」を単位取得済みであることが望ましい。 授業に参加し、自ら学ぶことが求められる。その点を理解の上受講すること。 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は対面授業の参加を認めない。						